



『活きている ことわざ』

船橋市議会議員（無所属・6期）

神田 廣栄（かんだ ひろえい）市議会報告

【事務所】

船橋市前原西 8-24-8

☎047-490-3333

Fax 465-7117

【所属】市民民主連合（代表）・総務委員会

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

【役職】(元)第60代議長・(前)予算決算委員会委員長

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

一念天に通ず

◇成し遂げようとする固い決意があれば、その心が天に通じて必ず成就する、ということ。



今年は私たちにとって身近な選挙があります。まず、3月16日に投開票の千葉県知事選挙。次に6月15日に告示、同月22日に投開票の船橋市長選挙と市議会議員の補欠選挙。期日は未定（7月？）の参議院議員選挙があります。一番身近な選挙が船橋市長選挙と市議会議員補欠選挙です。市議会議員補欠選挙は現職の議員が不幸にもお亡くなりになりその補欠選挙となります。

船橋市長選挙には、1月17日に現職の松戸徹市長が記者会見され、4選を目指して無所属で立候補する意向を表明されました。前回選挙では、自民、公明、立憲の推薦を受けて戦い圧勝されました。松戸市長の人格・能力・実績から判断すれば、それぞれが再び推薦されない筈はないと思います。

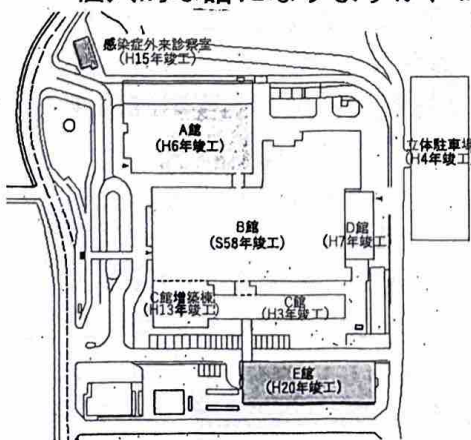
私は「松戸徹さん」とは秘書課時代から良く知っており、その後、秘書課長や公室長、副市長を経験され、市政には絶対の自信と信頼を得て活躍されてこられました。長年の懸案だった「児童相談所」は来年度に南船橋駅そばに開設されます。

残念なのは、船橋市立医療センターの建て替えが様々な事情で、現在は方向性が見えない状況となっていることです。この建て替えについてが一番の争点となりそうです。

個人的な話になりますが、昨年に医療センターに入院して2回の手術を受けました。

70歳を過ぎて、生まれて初めて入院と手術を体験しました。現在は元気にまた活動できており有り難いことです。

2回の入院の間に、12月2日の議会で一般質問に立ち、体験しなくては分からなかったことを質問しました。現在の医療センターは、とにかく建物が古くなっています。質問した一つが、手術室の前の廊下が狭く、器材の間を縫うように手術室に出入りしていることです。TVドラマで見ると、家族等の手術を手術室前の広い廊下で待っている様子がほとんどですが、全く違いました。何故医療センターは手術室の前の廊下に器材がいっぱい置いて



あるのか質問したら、手術室が狭く、廊下に置かざるを得ないそうです。一事が万事、現在の医療センターは狭く分かりづらくなっています。

一刻も早く建て替えるべきです。ここで働く医師や看護師や職員の方々のやる気が失せてしまうのではないかと懸念を深く感じました。

松戸市長は、この点を解決するまで責任を感じておられるわけです。当初予定より物

価や人件費の暴騰、コロナ感染拡大等のいくつかの要因がありました。

以下、これまでの医療センター建て替え工事費の推移を表にしました。

時 点	時 期	概算整備事業費	うち工事費
建て替え基本構想	2017年 3月	4 1 8 億円	2 5 5 億円
建て替え基本計画	2019年 3月	4 3 7 億円	2 9 0 億円
建て替え工事基本設計	2023年 2月	7 0 9 . 5 億円	5 6 0 . 0 億円
建て替え工事実施設計	2024年 3月	7 2 3 . 2 億円	5 7 1 . 2 億円

※概算整備事業費には、工事費の外、工事監理委託料等、医療機器等整備費、移転費用、用地取得費の合計となり数字が増えています。

その後、2024年5月に予定価格（税込）を578.16億円（救急ステーション工事費含）で工事入札公告をしたところ、入札参加者から入札辞退届けが提出され、2024年9月17日に入札を中止しました。

その後、市が辞退した企業にヒアリングをしたところ、

- ◇工事費の乖離及び工期の不足が主たる理由。
- ◇9月時点での積算価格は、予定価格に対して約2割5分の超過。
想定工事費（税込）が、なんと722.7億円になるということです。
- ◇工期については、44ヶ月を見込んでいたので、6ヶ月の不足。
- ◇設備業者が非常に多忙な状況であり、このことが工事費や工期にも影響している。とのことでした。

今後の対応については、入札辞退者へのヒアリングの内容や総合建設業者、設備業者へのサウンディング結果を踏まえ、市長部局と病院局で検討している状況です。と令和6年第4回船橋市議会定例会において説明がありました。

工事業業者が決まらず時間だけが経過すると、工事費がまた増額せざるを得ない事態となりそうです。松戸市長は記者会見で「『事業費が大きいから』と待つのは将来に禍根を残す。スキルの高いドクターが分散したら船橋にとって多きな損失になる。焦って突き進むのではなく、単年度の負担がどれくらいか、財政運営を見極めて対応したい」と述べられました。全くその通りではないでしょうか。

この工事費の支払いは、船橋市の懐から一挙に支払うものではありません。「企業債」というものがあり、この「企業債」で工事費を支払い、その「企業債」への償還は、船橋市一般会計負担金（新病院分）と病院負担に分け、一般会計負担金は年間、平均約13.8億円の支払いで令和38年度までの支払い。病院負担は年間、平均12.3億円の支払いで令和38年度までの分割支払いとなります。（令和6年第1回定例会の時点）

もう少し分かり易く言えば、2024年の概算整備事業は、723.2億円でしたが、借入に伴う利子の支払分も含めると、一般会計が456.3億円。病院負担が431.9億円となり、合計が888.2億円になります。増額した分が利子分となります。もっと分かり易く言えば、工事費は「企業債」で一括して支払うが、その返済は33年の分割払いということです。住宅ローンの仕組みと同じです。ですから一挙に船橋市の財政負担が大変になるということはありません。

あと、新病院までのアクセスです。新駅が出来れば近くにはなるでしょうが、船橋市は交通不便地域が多くあります。定期バス便やコミュニティバスを走行させるなどにも充分配慮が必要となります。通院されておられる方々の不便さを十分感じました。

今回の船橋市長選挙に立候補表明された「松戸徹さん」以外にどなたが立候補されるか、今現在は不明ですが、立候補されるそれぞれの方が本心から船橋市のことを考え、船橋市民の為になるか、しっかりと見極めたいものです。

